

蛭谷和紙 継承へ協議会発足

朝日の有志

蛭谷和紙の文化復活を目指す協議会の発足式は15日、朝日町蛭谷自治会館で行われ、会長に準備協議会の長崎喜一代表が選ばれた。

蛭谷和紙は越中和紙の一つとして国の伝統的工芸品に指定されている。現在は蛭谷集落に技術継承者がいないため、地元有志が昨年9月に準備協議会を設置し、自治会館を紙すきの拠点とした活動について検討を進めていた。

協議会と町は新年度、蛭谷和紙のブランド化に向け、大学生のインターンシップ(就業体験)事業を予定している。副会長に長崎満夫さん、川合憲二さんが就いた。



紙すき道具を確認する長崎会長(左から3人目)
—朝日町蛭谷自治会館